

決算審査特別委員会会議録

1. 日 時 平成21年9月29日(火)
午前9時30分～午後2時52分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 徳並伍朗 委員長 山中佳子 副委員長
安富法明 委員 南口彰夫 委員
大中宏 委員 原田茂 委員
佐々木隆義 委員 布施文子 委員
田邊諄祐 委員 柴崎修一郎 委員
荒山光広 委員 西岡晃 委員
河本芳久 委員 下井克己 委員
岩本明央 委員 三好睦子 委員
萬代泰夫 委員 高木法生 委員
有道典広 委員 岡山隆 委員
馬屋原眞一 委員 秋山哲朗 議長
河村淳 副議長
4. 欠席委員 村上健二 委員 山本昌二 委員
5. 出席した事務局職員
重村暢之 局長 岩崎敏行 係長
佐伯瑞絵 係長
6. 説明のため出席した者の職氏名
林 繁美 副市長 波佐間 敏 総務部長
田 辺 剛 総務部次長 兼重 勇 総合政策部長
金 子 彰 総合政策部次長 田 辺 剛 総務部次長
福 田 和 司 総務部次長 藤 澤 和 昭 病院事業局長
伊 藤 康 文 建設経済部長 末 岡 竜 夫 総合政策部企画政策課長
内 藤 賢 治 総合政策部地域情報課長 杉 原 功 一 教育委員会社会教育課長

矢田部 繁 範	建設經濟部建設課長	藤 井 勝 巳	建設經濟部商工労働課長
山 田 悦 子	市民福祉部長	古 屋 勝 美	市民福祉部次長
田 代 裕 司	市民福祉部地域福祉課長	久 保 毅	会計管理者
坂 本 文 男	美東総合支所長	岡 村 惠 右	市民福祉部高齢障害課長
佐々木 郁 夫	市民福祉部生活環境課長	西 山 宏 史	監査事務局長
中 村 弥壽男	上下水道課長	桑 原 章 光	秋芳総合支所総務課長
平 田 耕 一	美東総合支所総務課長	竹 澤 茂	美東総合支所市民福祉課長
山 藤 優 子	秋芳総合支所市民福祉課長	石 田 淳 司	総務部収納対策課長

午前9時30分開会

委員長（徳並伍朗君） おはようございます。ただいまより決算審査特別委員会を開催いたします。委員の皆さまはじめ、執行部並びに監査委員の皆さまには円滑な委員会運営にご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。また、秋山議長河村副議長、竹岡監査委員には、オブザーバーとしてご協力をよろしくをお願いいたします。それでは、先の本会議におきまして、本委員会に付託されました議案10件につきまして、審査いたしたいと思っております。なお、審査の日程でございますが本日は美祢市一般会計、明日9月30日には全特別会計、明後日10月1日を予備日とし、3日間で、会計ごとに審査を進めてまいりたいと思っております。また、一般会計決算、特別会計決算の説明・質疑がすべて終了した後、村田市長に出席を願い、総括審議を行います。なお、本日の審査の進め方ですが、一般会計の決算の説明にあたっては、歳出の款ごとの審査といたしますが、款によっては所管部局が多数となるため、それぞれの部局からの説明をよろしくお願いいいたします。それでは、副市長さん、報告等ございませんか。

副市長（林 繁美君） ございません。よろしくお願いいいたします。

委員長（徳並伍朗君） それでは、これより審査を始めます。議案第16号平成20年度美祢市一般会計決算の認定についてを審査いたします。なお、決算の説明にあたっては、歳入は、収入未済額の大きなもの、歳出では、主要事業、未執行の事業等について、ご説明をいただきたいと思っております。それでは、最初に執行部より、一般会計の総括的な説明を求めます。福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） それでは決算審査委員会に付託の議案第16号平成20年度美祢市一般会計決算についてご説明をいたします。提出のありました平成20年度予算執行実績報告書に沿って説明させていただきますので、お手元のほうに実績報告書のほうお願いいいたします。実績報告書の2ページ、3ページをお開きください。3ページの財政規模及び財政収支の状況に关します表をご覧くださいと思っております。まず決算規模でございますが、平成20年度の一般会計の決算規模でございますが、歳入総額のA欄は172億1,961万8,000円で、前年度の173億5,097万円に比べ1億3,135万2,000円、率にいたしまして0.8%の減となっております。次に歳出の総額B欄でございますが、160億997万7,000円で、前年度の170億3,147万8,000円に比べまして10億2,150万1,000円、率にいたしまして6%の減となっております。

次にその下でございますが、収支の状況でございます。歳入歳出差引額C欄は12億964万1,000円となり、予算明許繰越及び継続費通次繰越分として翌年度へ繰越すべき財源が5億2,088万6,000円となり、これを差し引きした実質収支が6億8,875万5,000円となり、前年度の実質収支額2億2,508万9,000円を差し引いた4億6,366万6,000円が20年度の単年度収支となるものでございます。単年度収支につきましては赤字要素、黒字要素が含まれておりますことからこれらを控除したものが実質単年度収支ということで、一番下の欄に実質単年度収支というものがあげられておるかと思っております。それで財源調整の基金利息の積立金として222万8,000円、及び公債費の繰上償還金としまして1,123万2,000円を加えまして、また今年度につきましては基金積立金の取り崩しがございませんでしたので単年度収支は4億7,712万6,000円となっておりますところでございます。以上が平成20年度の決算におけます財政規模及び財政収支の状況でございます。

それでは次に歳出の状況についてご説明をいたしたいと思っております。18ページをお開きください。18ページの歳出内訳対前年度比較表をお開き願いたいと思っております。最下段の計でございますが、平成20年度の最終予算総額は172億5,843万5,000円に対しまして決算総額が160億997万7,000円となり92.8%の執行率となっております。なおこれにつきましては先ほども繰越のところでご説明をさせていただきましたが、定額給付事業並びに国の地域活性化・地域対策臨時交付金事業をはじめといたします繰越明許費として8億1,036万2,000円、及び継続費として公営住宅建替事業を744万5,000円を21年度に繰越をしておる関係上、執行率が92.8%となっております。従いまして繰越がありますことから決算の総額は対前年に対しまして10億2,150万1,000円、率にして6%の減となったものでございます。決算額を目的別、区分別構成比で見ますと大きいものから申しあげますと、民生費でございますが、民生費が32億9,454万6,000円、率にして20.6%、総務費が30億7,958万円、率にして19.2%、公債費が28億4,971万8,000円、率にして17.8%、続いて衛生費でございますが、15億7,697万5,000円、率にして9.8%、土木費が14億9,009万1,000円、率にいたしまして9.3%、教育費が12億6,230万5,000円、率にして7.9%、更に農林費でございますが、12億2,446万9,000円、率

にして7.6%などとなっております。次に主な増減の理由についてご説明を若干させていただきます。対前年度比較の欄、一番右側の欄でございますが、そちらのほうを見ていただきたいと思います。減額の主なものでございますが、議会費の5,137万9,000円減、率にして23.2%の減となっております。これは合併に伴います議員定数の減によります人件費の減等によるものでございます。次に総務費についてですが5億7,734万3,000円、率にしまして15.8%の減となっております。これにつきましても合併に伴います各種委員等及び特別職等の減、及び一般職員等の減数に伴いますもの、また合併に伴いまして合併電算システム統合の改修経費等がなくなったことから減が生じたものでございます。

増額の主なものは、商工費の8,686万2,000円、率にして23.6%の増となっております。これは、竹林資源活用施設整備事業等によるものでございます。また、公債費について、1億325万2,000円、率にして3.8%の増となっております。これにつきましては、本来であれば過去の国の経済対策による大型事業の公債費償還ピークが経過し、これに起因します公債費償還が減少しております。本来であればそこで下がってくるわけでございますが、平成19年度から始まりました旧資金運用部等の公的資金補償金免除繰上償還に伴いまして、平成20年度におきまして、6%以上、7%未満の利率で借り入れをしておりました市債につきまして、現行の利率によります借り入れの借換えを実施しましたことから2億9,403万2,000円の繰上償還を行いそれと併せまして借換として2億8,280万円を行ったことによる増でございます。

続きまして、性質別の歳出決算額について、ご説明をさせていただきたいと思いますので、20ページをお開き下さい。表の1番でございますが、消費的経費95億7,884万3,000円、構成比59.8%、対前年度比較は949万7,000円の増、対前年度0.1%の増となっております。2としまして、投資的経費19億8,800万8,000円、構成比12.4%、対前年度比較は6億6,840万6,000円の減、対前年度25.2%の減となっており、3公債費は、先程の説明のとおりでございますが、28億4,971万8,000円、構成比として17.8%、対前年度比較は1億325万2,000円、対前年度3.8%の増となっております。4その他繰出金等についてでございますが、15億9,340万8,000円、構成比10%、対前年度比較は、4億6,584万4,000円

となり、対前年度22.6%となっております。個別には、人件費37億4,481万9,000円、率にして23.4%、公債費が28億4,971万8,000円、17.8%、補助費等が23億518万3,000円、14.4%の順となっております。前年度の歳出に比較して増加率の大きなものでございますが、1の消費的経費の(5)補助費等で3億6,278万6,000円、率にしまして18.7%増となっております。この主な要因でございますが、下水道事業につきまして、平成20年度より法非適用の会計から法適用となったことに伴います繰出金から補助費等に区分が変わったことによる補助等の増でございます。また次にその他の(1)積立金3,203万円、率にしまして16.8%増の主な要因でございますが、これはゆたかなまちづくり基金の経済対策分の基金積立増によるものでございます。また、減少率の大きなものにつきましてご説明をさせていただきます。2の投資的経費の(2)災害復旧事業費の1,327万7,000円、59.5%の減でございますが、この主な要因でございますが、20年度におきまして、補助事業そのものが、皆減な減少となったことに伴うものであります。次に減少率の大きなものといまして、4のその他の(2)投資及び出資金で1,020万円、率にしまして52.3%の減であります。この要因でございますが、美祢農林開発出資金としまして1,950万円19年度にございましたが、その部分が減となっておりますものでございます。また、減少額の大きいものといまして、投資的経費の(1)普通建設事業費の6億5,516万9,000円、率にしまして24.9%の減がございます。この主な要因でございますが、麦川小学校屋体整備として1億6,908万9,000円及び先程も説明しておりますように合併に伴います電算システム改修経費1億244万7,000円等の減によるものでございます。

次に、市債の状況について説明をさせていただきます。32ページをお開き下さい。平成20年度末の市債未償還元金の総額でございますが、一番下の一番右側の最下段でございます。188億2,323万3,000円となっております。前年度末の総額が193億8,668万4,000円となっておりますので、5億6,345万1,000円、2.9%の減となっております。未償還元金の内訳でございますが、普通債128億4,839万9,000円、災害復旧事業債が1億1,758万9,000円、転貸債5,073万5,000円、地方税減収補てん債が948万円、減税補てん債が6億2,885万6,000円、臨時税収補てん債1億1,500万8,000円、臨時財政対策債が42億1,056万

6,000円、退職手当債8億4,260万円となっております。以上が歳出の概要でございます。

それでは、続きまして歳入の状況について、ご説明をさせて頂きたいと思えます。4ページをお開き下さい。4ページの歳入内訳別、対前年度比較表をご覧頂けたらと思えます。平成20年度決算額の最下段の計でございます。真ん中の欄の決算総額ですが、172億1,961万8,000円で、対前年度に比べ1億3,135万2,000円、率にしまして0.8%の減額となっております。歳入決算額を構成別にみますと、歳入の主なものは、依存財源の中段部分でございます地方交付税72億1,991万3,000円、構成比41.9%、国庫支出金15億61万円、構成比8.7%、県支出金12億4,121万2,000円、構成比7.2%、市債19億2,320万円、構成比11.2%、及び自主財源の欄でございますが、市税が34億9,296万円、構成比20.3%などとなっております。主な増減についてであります。前年度と比較して増加率が大きいものは、地方特例交付金1,407万9,000円、率にして82.1%の増となっております。これは住宅ローン減税に伴います減収補てん分の増によるものでございます。次に増加率の大きいものといいたしましては、国庫支出金で増加額6億1,243万8,000円、率にしまして69%の増となっております。この主な要因でございますが、年度末に交付のありました定額給付費補助金4億2,550万円、地域活性化・生活対策臨時交付金として2億629万4,000円による増となったものでございます。一方、減少率の大きな主なものでございますが、依存財源では、配当割交付金の減少額700万2,000円、率にして59.6%の減、株式等譲渡所得割交付金の減少額721万円、率にして78.2%、及び自主財源であります財産収入の減少額9,209万4,000円、率にして81.7%の減等でございます。基金等からの繰入金は20年度はございませんので皆減ということになっております。基金からの繰入金の皆減の要因でございますが、合併効果によります他財源の確保並びに交付税等の合併算定替による交付基準額が、一本算定に比べまして9億1,212万7,000円、これは基準額ベースでございますが、こちらの9億1,212万7,000円が増であることから繰入金がないですんだということ、また、地域活性化・生活対策臨時交付金等の活用によります事業実施、更には支出経費の削減に努めましたことから基金からの繰入金のない状態での決算となったものでございます。

以上から、地方交付税、市債及び国県支出金等による依存財源の構成比率は73.1%で前年度の構成比に比べまして3.5ポイントの増となり、逆に市税、使用料及び手数料などの自主財源は、構成比率3.5ポイントの減となるものでございます。次に、市税の状況につきまして概要を説明させて頂きたいと思っております。実績報告書の10ページをお開き下さい。

平成20年度の市税の決算額でございますが、一番下の欄の真ん中でございます。34億9,296万円でございまして、歳入の総額の20.3%、自主財源の75.4%を占めております。前年度決算額は34億7,753万4,000円に比べまして、1,542万6,000円、率にして0.4%の増となっております。個別に見ていきますと、1市民税は調定額が13億9,671万4,000円、決算額13億5,036万1,000円、徴収率が96.7%、対前年度1.9%、2,547万1,000円の減でございます。次に、2の固定資産税では調定額19億7,034万円、決算額17億2,776万3,000円、徴収率87.7%、対前年度3.1%、5,137万3,000円の増でございます。3の軽自動車税でございますが、調定額が8,567万4,000円、決算額が8,021万9,000円、徴収率が93.6%、対前年度4.6%、351万2,000円の増でございます。4の市たばこ税でございますが、調定額が1億6,119万3,000円、決算額が1億6,119万3,000円、対前年度4.7%、798万8,000円の減でございます。その他につきましては、以下のとおりでございます。また、市税の構成比を見ますと固定資産税が49.5%、市税が38.7%、市たばこ税が4.6%、都市計画税が3.2%の順となっております。なお、市税の現年度分滞納繰越分のそれぞれの収納の状況についてでございますが、これにつきましては平成20年度美祢市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書、これ監査資料のほうでございます。すみませんが緑の縁取りの監査意見書のほうの43ページ、44ページのほうお開き下さい。(1)の市税全体の収納状況のとおりでございまして、それぞれ個別につきましてはアから順に個別の収納状況について説明が標記されておりますので、総括の一番上の(1)というところを見ていただきたいと思います。平成20年度の現年度分の収納率、これは一番上の表の平成20年度現年分の部分を見ていただけたらと思っておりますが、対前年度0.5%増の収納率は98.8%でございます。滞納繰越分につきましては、対前年度1.5%増の10.8%となっており、それぞれ収納率について増加してござい

す。収納率の向上に努めたところでございます。すみません1.5ポイントの増ということでございます。%ではございません。0.5ポイント、滞納繰越分につきましては1.5ポイントの増ということでございます。

以上が平成20年度美祢市一般会計決算の概要についてでございます。引き続きまして、各担当課長より平成20年度の主要施策について、説明をさせます。よろしく申し上げます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。これからは、一般会計の個別事項について説明を求めます。まず、総務費を議題といたします。執行部より説明を求めます。田辺総務部次長。

総務部次長（田辺 剛君） それでは同じく予算執行実績報告書の48ページから説明いたします。平成20年度主要施策内容の説明でございます。款の総務費・項の総務管理費・目の一般管理費ですが、まず、地域防災計画策定業務委託料として380万円を支出しております。赤郷交流センターサイレン取替工事、これに110万3,000円、西厚保地区サイレン電源改修工事、こちらに41万8,000円を支出しております。それからマイクロバスの運転委託料として164万2,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 末岡企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（末岡竜夫君） 続きまして、5番になりますが、市章制定支援業務委託料に46万7,000円支出しております。その次に市旗・国旗・市民憲章パネル備品購入費として48万4,000円を支出しております。その次に総合計画策定業務委託料でございますが、これに関しまして546万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 内藤地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（内藤賢治君） 続きまして8番でございますが、区集会所建設補助といたしまして、504万3,000円支出しております。続きまして、文書広報費でございますが、広報「みね」の発行、毎月2回発行しておりますけれどもこれに701万円支出しております。続きまして、企画費の1番でございますが、美祢市有線テレビ放送管理運営業務委託といたしまして、8,785万8,000円、有線テレビ高度情報化整備工事といたしまして、6億5,337万8,000円の支出でございます。3番目、有線テレビ高度情報化整備工事設計監理業務といたしまして、477万2,000円の支出でございます。4番目、生活

バス路線対策事業乗合バス支援事業補助といたしまして、1億504万1,000円の支出でございます。

委員長（徳並伍朗君） 平田美東総合支所総務課長。

美東総合支所総務課長（平田耕一君） 続きまして、支所及び出張所費でございます。1番目の宿日直業務委託料でございますが、美東・秋芳両支所分として、493万8,000円を支出しております。2番目の運転業務委託料、マイクバス運転業務委託として563万9,000円でございます。続きまして、3番目の施設整備工事ですが、秋芳総合支所の上下水水漏対策工事として、207万5,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 田辺総務部次長。

総務部次長（田辺 剛君） 続きまして、目の交通安全対策費です。交通災害共済状況を上げております。加入状況ですが、加入者が1万308名、加入率が34.95%、共済掛金が513万8,000円となっております。給付状況ですが、合計で35件、509万7,000円の給付がされております。

委員長（徳並伍朗君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） それでは2の交通安全施設整備事業の関係でございますけど、ガードレール、カーブミラー、区画線、10件といたしまして640万4,000円を執行しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 末岡企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（末岡竜夫君） 続きまして、目の活性化対策費でございますが、中山間重点プロジェクト推進事業費補助金、これは県の地域振興部中山間地域づくり推進室が所管している事業の補助金でございますが、これに120万円を支出しております。続きまして、2番のふるさと美祢応援寄附金積立金でございますが、昨年度始まりましたふるさと納税により233万3,000円を支出しております。次に美祢市土地開発公社事業費補助金でございますが、これに4,170万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 内藤地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（内藤賢治君） 続きまして、4番目の豊田前地区活性化対策事業といたしまして、63万4,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 末岡企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（末岡竜夫君） 49ページに参りまして、目のふるさと

創生事業費でございます。これはふるさと人材育成事業市民海外研修助成金でございますが、20名の参加者がございまして、助成金といたしまして、281万3,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 山田市民福祉部長。

市民福祉部長（山田悦子君） それでは続きまして、項戸籍住民基本台帳費、目戸籍住民基本台帳費です。戸籍総合システム経費といたしまして、1,222万8,000円支出しております。内訳は戸籍総合システム保守委託料として、201万6,000円、戸籍総合システム借上料として、781万8,000円、戸籍総合システムソフト使用料として、239万4,000円となります。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 田辺選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会事務局長（田辺 剛君） 項の選挙費、目の選挙管理委員会費です。裁判員制度に伴う既存住民基本台帳電算処理システム改修業務事業に63万円を支出しております。次に目の市長選挙及び市議会議員選挙費でございます。美祢市長選挙及び美祢市議会議員一般選挙、これは投票日が平成20年4月27日に執行されておりますが、こちらに5,633万3,000円を支出しております。市長選は立候補者が4名、市議選は立候補者が32名となっております。続きまして、目の農業委員会選挙費です。美祢市農業委員会委員一般選挙、これは投票日が平成20年7月6日の予定でしたが、無投票となっております。告示までに要した経費として67万9,000円を支出しております。続いて、目の県知事選挙費です。山口県知事選挙に要する経費として、3,081万3,000円を執行しております。投票日は平成20年8月3日です。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 内藤地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（内藤賢治君） 続きまして、項の統計調査費・目指定統計調査費でございます。住宅土地統計調査他、他と申しますのは学校基本調査、工業統計、経済センサス調査でございますが、この調査費として450万円支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います、質疑はございませんか。はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） まず、要点として、一般財源が増額となったという報告と併せ市税が若干1,500万円の増が、先程の説明からいくと福田次長の表現からいくと市税の0.4を税の滞納の徴収も含めて非常に苦勞をしたという思いが感じら

れたのでその点を含めて多少具体的な努力なり手立ても含めてまず説明を願いたいと思います。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） それでは南口委員さんの質問につきまして回答をさせていただきます。税金につきましては若干の増ということで、これにつきましてはいろいろな要因がございまして、10ページを見て頂いたらわかりますように市税の中でも個人市民税につきましては4.6%の対前年度増となっており法人税につきましては2.4%減ということになっております。これらの要因がございまして、これにつきましては市民税につきましては、前々年度の所得に伴います課税という関係がございまして前々年度の2年前の景気が上向いた状況の中での賦課とすることで増えたと、法人税につきましては皆さんご存知のように昨年の10月以降の全世界的な経済不況の到来によりまして販売不振等の理由で業績が悪化したということから企業会社の申告納税額の大幅な減少に伴いまして20%あまりの減少が生じたと言うような状況も含めまして相対で若干の増になっておると言うことです。それと収納率が0.4%ございまして若干伸びております。特に先程も説明しましたように滞納繰越分につきましては1.5ポイントの増があったということは収納対策課ということで徴収に非常に積極的にやっておると言うことがまず1点。それと庁内におきまして庁内での収納、特別会計も含めまして市全体に渡ります収納に関わります協議等行いましていろいろなノウハウを持ち寄ってどういった収納方法がいいかということを入りましても検討を継続しながらやっておると言うことが結果として若干ではございますが、収納率の増につながってきたのではないかと考えるところでございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 南口委員。

委員（南口彰夫君） 今の説明で税務課の収納対策室というのがあるんですかね。

（発言する者あり） 収納対策課かね、すいません。そうした収納対策課というものがあつたというのは非常に勉強不足でした。そうしたところの職員が非常にある面努力をされたら、数年前から山口県下いろんな意味での公共料金、それから市営住宅の家賃等含めて、滞納のとりわけ悪質な滞納についての整理というか取り立てというか、いうことに取り組んでいるんですが、そこで要点だけお聞きしたいと思うんですが、そうした対策課で十分に税の徴収という役割を果たされた20年度にそこで私が少なくとも聞き及んでいる範囲内ではそうしたよく他市では市の職員が税

の取り立てに非常に厳しい態度を望んだときに往々にして不幸な出来事とトラブルとことがマスコミ等でも報道されることがあるんですが、この20年度の1年間の経過ではそうした取り立てで市民からの苦情、そうした大きなトラブルは私はなかったと認識してるんですが、それに相違ないでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） 本市の徴収業務についてでございますけど先程の説明ではちょっと言い漏らしておりましたが、県のほうの収納対策の担当者を非常勤とした形、併任職員という形で期間半年程度でございますが、県税も含めまして一体的に適正な徴収を行うと言うことで、そういった法に基づきます収納の対応を担当職員日々心がけておりますので、どうしても税を徴収、滞納も含めまして徴収するという性格上小さなトラブルといえますか、そういうことはあろうかと思いますが、やはりその辺は説明の中できちっと説明したうえでスムーズに収納頂くことが税の公平性を市民の皆さまにお示しすると言う立場からご理解頂いた上での徴収という形をとらせて頂いておりますので大きなトラブルはないというふうな認識でおります。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） その他、岩本委員。

委員（岩本明央君） 審査意見書グリーンの44ページをお願いします。一番上の固定資産税の収納状況の一番右の方に収納率がもちろん現年度分は高いんですが、年度別に87%、18、19、20とありますが、これ特にほかの税につきましては90%台ですが、固定資産税が特に比率が低いのはどういう理由であるか原因は理解しておられますでしょうか。それから2点目はその対策としてどのような形をお考えかどうか、2点お尋ねいたします。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） ご指摘のとおり税につきましては県内の市町の中でも収納率については非常に上位のほうに収納率が高いということで美祢市は上位のほうにおるという認識でございます。ご指摘のように固定資産税につきましては他の収納率と比べて若干、率が低いということであろうかと思えます。これにつきましては、大口の家屋につきまして滞納等がございましてそちらの収納がなされていないということでの率の低下といえますか、収納率が低い状況にあるということでございます。以上です。

すいません。もう1点の今後の対応についてでございますが、先程も南口委員の

ご質問にお答えしましたように粘り強く収納は行っております。しかしながら反面やはり地元の企業家と申しますかそういったことも含めながら納めて頂く方向での努力をさせて頂いてはおります。いろんな形で直接お会いした上で分割も含めまして多種多様な方法で未納がないような形で対応させていただきたいということで交渉も頻繁に行っておりますのでそういったことを粘り強くやる方法以外にはないかと言うふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） ほかに。はい、大中委員。

委員（大中 宏君） 先程、南口委員からもちよっと指摘がありましたけど、収納の関係についてですけど、いわゆる繰越滞納の分の収納率が10%と非常に低いんですね、これは例年問題になると思います。特にこの中でも不能欠損とか収入未済額なんか、かなり大きな金額が上ってます。特に収入未済額の中にもかなり不能欠損になる恐れのある分がかなりあるんじゃないかと言う懸念もされるんですけどだいたいどのくらいの金額を見積もられておられる、予想されておられるか、また、県から二人三脚で収納の対策についてチームを組んで強力にやられているのは聞きましたけど実際に1.4ポイントですか、上がったと言われますけど実際には金額からしたら微々たるもんでもう少し積極的な対策がとれなかったかということと、それからもう1点、これは小さな問題ですけど交通災害共済というのがありますよね、これは全体として約35%というのは非常に低い加入率になっております。実際掛け金が500万円で給付された共済金も500万ということになると大変入っておられる方お互いが助かったんじゃないかと思えます。これを加入率が非常に低いその原因はなんだろうか、どういうふうなPRの対策とられたか、ちょっとお聞きしたいと思えます。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） 最初の不能欠損、滞納繰越分におきます不能欠損の見込額並びに収納率が10.8%とこれそのものが低いのではないかと、もう少し積極的な収納対応はないかと言うこの2点についてでございますが、不能欠損につきましては、収納対策課長のほうがこの場に同席しておりませんので、後程時間を頂いてそちらのほうでこの場に出席をした上で回答させて頂きたいと思えます。すみませんがよろしくお願いたします。

委員長（徳並伍朗君） 田辺総務部次長。

総務部次長（田辺 剛君） もう1点の交通災害共済に関するご質問ですが、加入

率が低い理由ということですが、これは担当のほうで考えてるのが、ほかにいろいろな保険に加入されているいろんな保険に加入されているこの交通災害共済だけならおそらく100%ぐらい行くんでしょけど、ほかにもいろいろ何とか共済とか、何とか保険とか言うことで加入されているからということではないかというふうに考えております。それと広報の方法ですが市報に加入の時期になりますと市報のほうでお知らせしております。それ以外有線テレビとか告知放送等では今のところはやっておりませんが、今後は加入率が上がるようにいろいろ広報の方法も考えて行きたいと言うふうに思っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 大中委員。

委員（大中 宏君） 今の交通災害の加入の関係ですけど、私全体的なことはよく把握してませんが、美東町では各家庭に加入表というのを全部区長さんを通じて配布をし、加入される方は金額を書いて掛け金と一緒に区長さんのほうに提出するというような形をとっております。加入率が大変いいと思うんです。各地区別の加入率がよくわからないんですけど、そういう対策は全体的にとられてないのかどうかちょっとその辺をお伺いします。

委員長（徳並伍朗君） 田辺総務部次長。

総務部次長（田辺 剛君） 説明が不足しておりました。広報で市民に周知して各区長さんにとりまとめをして頂くようにやっております。それで地区別の加入率ですが今、大中委員がご指摘のとおり美東町が52.8%、秋芳町が66.7%、旧美祢市地域が18.5%ということで、秋芳・美東地域は加入率が高くなっており美祢市のほうでは加入率は低いという状況であります。今後現在の方法に加えてこの加入率が少しでも伸びる方法を考えて参りたいと言うふうに考えております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それでは最初に美祢市の住民1人当たりの市民税これについてのお話ししたいんですけども、一応よく美祢市の市民税は高すぎるんじゃないかとそういう声もよくお聞きするんですけども実際この平成19年度の市民税1人当たりの額を見ますと4万5,835円と、今回の決算では平成20年度が4万5,557円ということで実際市民税が減っている非常に市民にとっては非常にありがたいことであるということを思っております。だから実際今回平成20年度よく上がったと聞きますけれどもこれを見れば着実にこれ下がってるなと言うことを

感じております。それからあと固定資産税が1人5万5,848円、それが今回の決算、平成20年度では5万8,290円ということでこの固定資産税が若干上がっております。それで税金に関してのこの平成20年度では市民税含めてその他の税収含めて市民の皆さん1人が11万7,842円ということで、平成19年度比であれば約2,442円上がってます。この程度といえはこの程度ですけれども基本的には横ばいで全体の税収から見れば横ばいかなと思っております。そういうことで今回固定資産税がもう少し上がった要因と言いますか、それについてお話しして頂きたいということで、いずれにしても特に市民税に関しては若干下がっていると今後いろいろ大変な状況とは思いますが、それでもまず今回の固定資産税が若干上がったということと今後の動向について簡単にご説明して頂きたいと思っております。

委員長（徳並伍朗君） はい、波佐間総務部長。

総務部長（波佐間 敏君） それでは只今の岡山委員のご質問でございますけれどもまず冒頭に美祢市の市民税は高いのではないかというお話しがあったわけですが、美祢市の市民税の税率と言いますものは、いわゆる標準税率ということでございますので、他市に比べて率的に高いとか低いとか言うものではなくて、いわゆる他の自治体ほとんどが採用しております標準税率いうものです。高いとか低いとか言う感覚は全て個人市民税ですから個人の方の所得の増減、そういうものに起因するものではあるというふうに感じております。固定資産税におきまして、若干1人当たりの税額が増えたと言うのは土地・家屋・償却というものが、固定資産税の中にあるわけですが、主に伸びた要因というものは償却資産等の原因によりまして、企業の投資によるものということで、20年度後半は景気の停滞によるその投資というものはなかったと思っておりますけれども前半部分、前年度の投資の結果20年度に申告課税されたものの増額言うことで、住民お一人お一人が直接納税される土地・家屋にかかる税額の増というものはさほどなかったというふうに感じております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） はい、わかりました。いずれにしても市民税が少し下がったのではないかと、それはいいことなんですけれども基本的にそれは何を意味してるかという要するに美祢市の1人当たりの所得は270万円程度といわれてる。その所得が下がったために市民税が下がった、非常にこれは余りはっきり言ってよくはないんですけれども、いずれにしても法人税にしても7,400万円程度昨年の

サムプライムローンがはじけてリーマンショックとその影響がこれにしっかりと数値に出ているなどということを感じております。いずれにしても今後こういった税収に関しては非常に今現在景気が回復して来ているとはいえ非常に厳しい状況にあります。どうかこの辺については市民税のとらえ方に関しては今まで以上にしっかりと、なんと申しますか、兜の緒を締めてしっかりと対応をして頂きたいと思えます。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、河本委員。

委員（河本芳久君） それでは2点程お尋ねします。資料では予算執行実績の4ページでございます。いわゆる市の財政を賄っている主な財源は国の財源を頼りにしておると20年度の当初予算では国の依存度というのが70.9、自主財源が29.1とこういうふうな形で20年度予算書が立てられている。決算では今度は国への依存というのが73.1%、実質的な財源で市の予算がまかなうのが26.9といわゆる自主財源が減ってきて国へ依存しなくてはならない体質に傾いているとそのことは19年度、合併前のこの一市二町の依存財源が69.6%、こういった数値から見ると合併して財源が少し豊かになっているのではないかという思いを多くの市民が持っておりますが、実質的には自主財源が少なくて国に依存しなくてはならない、そういう財政状況にあるとこの要因についてまず1点はお尋ねしたいと。それから自主財源の主たるものは税であり使用料等の収入等もありますが、先程市税に関するいろいろ質問も出ましたので税に関わっては省かせて頂きますが、水道料、下水道料、また住宅使用料等の使用料等のいわゆる不能欠損額というか、入らないお金5,000万円ぐらい出ているようです。こういった自主財源にあたる主たる財源を税についてはかなり厳しく収納を進めておられるようですが、使用料等についての収納についてはどういう状況になっておるかやはり改善されているか、それともなかなか難しいのか、そのあたりについて併せてお尋ねいたします。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） 河本委員さんのご質問2点について回答をさせていただきます。まず1点目の自主財源と依存財源の率のお話しでございました。ここで基本的に市の税というのは自主財源で賄うのが理想としては好ましいと大原則がございます。しかしながら20年度の決算につきましては、先程も説明しましたが、自主財源の中の繰入金を使わなかったということによって自主財源比率がこの部分でかなり落ちていると、ただ考え方であろうかと思えますが、合併前の協議の中で当初3年間

については財政的に非常に負担が大きいことから繰入金や、基金を取り崩して対応しなくてはならないだろうと言う見通しが出ておりましたが、先程も説明しましたように合併効果によりまして初年度から7年間の合併の特例によりまして交付税の一本算定よりは多く依存財源ではございますが、交付税が入ってくるとこういった依存財源とは言いつつ合併をしたことによりまして、そういった交付税措置が入ったことから数値として、結果として依存財源が増えた自主財源が減ったと言う形にはなっておりますが、そういった今の交付税制度の中で有効な、これは別に美祿市が何億ほしいからと言うことで入ってくるお金ではございませんで、標準財政規模によってかかります費用、こういったものについて法の基準に基づいて交付税が試算されております。その中で市の財源として依存財源が決算におきまして自主財源が減って依存財源が増えたと言う結果にはなっておりますが、これがイコール市の財源が厳しくなったと言う訳ではないということをご理解頂けたらと言うふうに思います。それと一番主な依存財源が増えた要因ですが、先程の説明もさせて頂いたんですけど、国庫補助金で6億1,200万程対前年度、依存財源の中の国庫支出金が増えております。これの要因でも説明させて頂きましたが、年度末におきまして、地域活性化対策の生活対策臨時交付金、これが入ってきたこと、それと定額給付費補助金、こういったものが国の政策の中で補助金として通常当初見込んでおりました以上の補助金が入ってきてそのまま支出に当てられたとこういった経緯があることから結果として予算の中で当初に比べ依存財源が増えてきたとことがいえるかというふうに思います。それと2点目のご質問ですが、自主財源の中の使用料及び手数料の増減額5,000万円のことかなと思うんですけど、これにつきましては、いわゆる使用料、手数料が対前年度に比べて落ちたということでございまして、これがイコール収納率が下がったということではないということをご理解頂けたらと思います。以上でございます。それと下水道と水道につきましては一般会計のほうの予算でございますので下水道、水道につきましてはこちらの数字の中には入っておりません。後程特別会計のほうでそういった説明をするようになるかと思っております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） その他。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） ページ47ページですが、賦課徴収金のところなんですけど、46と47、下から5番目の23の償還金、利子及び割引料で3,077万1,711円とありますが、これは償還金、利子と割引料は何なのでしょう。

申し訳ありません。歳入歳出決算書の中のページ46と47です。その中の賦課徴収費の項目の中で償還金、利子及び割引料とありますが、これは何なのでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） はい、波佐間総務部長。

総務部長（波佐間 敏君） 決算書の46, 47ページ、徴税费・賦課徴収費の中におきます償還金、利子及び割引料、支出済額として3,077万1,711円、こ地らの内容についてのご質問だと思えますけども、これは法人市民税におきまして予定納税された部分に対して中間決算として出された場合その差し引き予定納税額のほうが多かった場合には還付と言うこととなりますので、その分各企業に対して還付が生じると言うものが主な要因でございます。

委員長（徳並伍朗君） 三好委員。

委員（三好睦子君） 企業だけ、市民もなのでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） 波佐間総務部長。

総務部長（波佐間 敏君） ご指摘のとおり各税目におきまして過誤納とかいうものがあればそれも当年度分であれば当年度で収納の中で還付出来るわけですけど過年度分につきましては過誤納とかが発覚した場合、修正申告とかありまして減額になった場合にはこういうふうに予算をもちまして還付をするという状況になります。

委員長（徳並伍朗君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） わかりました。何か全納の報奨金かなと思いましたが、申告したときの戻ってくる分ですね。わかりました。ありがとうございました。

委員長（徳並伍朗君） 西岡委員。

委員（西岡 晃君） 予算執行実績報告書の48ページに活性化対策費の美祢市土地開発公社事業費補助金4,170万円ですかあると思うんですが、これは内容につきましては来福台の開発工事の利子補給だというふうに思いますが、その確認をしたいのですが、それでよろしいかどうか。併せて20年度の来福台の区画がどれだけ売れたかわかれば併せて教えて頂きたいと思うんですが。

委員長（徳並伍朗君） 末岡企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（末岡竜夫君） 今の美祢市土地開発公社事業費補助金についてはおっしゃるとおりでございます。ただ来福台住宅団地だけではなくて合併と同時に美東地域の長田定住団地整備事業、それから同じく美東の湯の口分譲宅地

の整備事業、それと十文字原の総合開発事業用地、最後にもう一つは秋芳地域にあります旦住宅団地と言うところがございます。これらの土地開発公社が所有する事業に関する利息の補給です。これの利息の補給が約3,271万3,000円程ございます。そのほかは運営補助金ということで現地事務所のプロパーの賃金でありますとか、その光熱費でありますとか、そういうものになっております。それを合計いたしまして4,170万円と言うことで支出させて頂いております。それと平成20年度の来福台団地の区画の売り上げなんでございますが、平成20年度は一区画も売れませんでした。残念なことに。鋭意努力はしたんですが結果として今の不況のあおりを受けて一区画も売れなかったと言うことで理事会、販売促進会議においてもどうにかせんにゃいかんということで、今年に入ってまた更に策を練っているところであります。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 安富委員。

委員（安富法明君） 1点だけお伺いいたします。今の三好委員の関連なんですが、この監査意見書のほうの43ページに市民税等が議論されておるんですが、今の法人市民税の収納状況が18年、19年、20年と出てるんですが、現年度分で比較をしてもかなりの19年度に比べると20年度が7,600万円ぐらい減ってます。今21年度がもう既に10月になってきておるんですが、先程今話がありましたように法人市民税は前年度の実績で前半と後半と2回に分けて納税をされて景気が悪ければ返さんにゃいけんと言総務部長の話なんですが、報道等ではよその市なんかでもかなり見込みがかなり厳しいというか、かなり還付が大きくなってきていると言うふうにいわれてます。わかれば21年度の状況が20年度に比べて更にまた19年度と20年度ぐらいの差が出るのかどうなのかその辺の見込みがわかればお答えをして頂きたいと思うんですが。

委員長（徳並伍朗君） 福田総務部次長。

総務部次長（福田和司君） 数字につきましては今、税務課長、収納対策課長のほうが同席しておりませんので後程正確な数字をお示しさせて頂きたいと思います。言われますように法人税につきましては昨年の10月以降の景気低迷に伴いまして法人税そのものが若干下がってきているというご指摘のとおり状況にはなってきておろうかと思っております。数字につきましては後程回答させて頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。

委員長（徳並伍朗君） ほかに、質疑なしと認め質疑を終わります。11時まで休

憩をいたします。

午前10時47分休憩

午前11時00分再開

委員長（徳並伍朗君） 休憩前に引き続きまして会議を開きます。先程質問がありましたことにつきまして、その関係の課長さんが入られましたので、最初に波佐間総務部長から。

総務部長（波佐間 敏君） それでは安富委員のご質問の法人市民税の今後の平成21年度の動向と見込みについてお話ししたいと思いますけれど、平成19年度が3億を超えるものがあり平成20年度決算で2億4,000万程度という状況の法人市民税ですけれどもご承知のように現在の景気の低迷、停滞によりまして平成21年度の法人市民税につきましては当初予算におきまして既に2億を切っているという状況でございますけれど今後の決算見込みにつきましては平成21年度の予算を2割程度は加減修正しなければならない状況であろうかというふうに考えております。以上です。それから大中委員の収納関係のご質問につきまして石田収納対策課長のほうから説明をさせます。

委員長（徳並伍朗君） 石田収納対策課長。

総務部収納対策課長（石田淳司君） それでは滞納繰越分20年度収納率10.8%のことについてお話ししたいと思います。監査意見書のほうの43、44ページに私どもが収納に携わってます市税の内訳等について記載があります。その中の43ページ右側、上から2段目、収納率滞納繰越分20年度10.8%という数字が上がっております。これは消して高い数字ではないというふうに私どもも思っておりますが、この要因といたしまして44ページ、ウの固定資産税の収納率8.0%ということで固定資産税の滞納繰越分の収納率がかんばしくないということが原因だろうと思います。併せて44ページの一番下オの都市計画税の収納率も8%ということで基本的には固定資産税と都市計画税はセットで徴収しておりますのでその数字がよくないということで全体の数字が上がらないということだろうと思います。この原因といたしまして大口滞納者に関わる滞納繰越になってる部分の徴収が出来ないということで特に競売事件中のものが大口で数件ございます。その整理が出来てないということでありまして、今後その過去に3回以上の民事執行がされておる訳なんです、結果的に買い手がついてないということになっておりま

す。民事執行ほうにも3回程度競売にかかって売れなければその事件については今後出さないというような法的な取り決めもあるようでございますので今後それらを整理する必要があるかと思えます。この金額についても約4,000万以上が該当するんじゃないかというふうに思っております。ほかの個人住民税、法人市民税、軽自動車税の滞納繰越分につきましては固定資産税、それから都市計画税ほどの数字の低さはないのではないかとこのように思っております。ちなみに他市の状況を見ますと美祿市は固定資産税も含めて全ての税の収納率が現年対象分では98.8%ということで県下の13市でトップな訳なんです。滞納繰越分については10.8%で決して高い数字ではありません。山口県内の市の平均が現年対象分で98.0%、滞納繰越分で19.5%ということで滞納繰越分については約県下の半分の数字というふうに思っております。今後滞納繰越分の滞納整理につきましては先程申しましたように競売事件のものについてどうするか、それらのもの以外については随時財産調査等を進めて法的徴収を進めるというふうなことで考えております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） ありがとうございます。それでは次に民生費を議題いたします。執行部より説明を求めます。田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） それでは50ページをお開き下さい。まず款民生費・目社会福祉費・目社会福祉総務費であります。社会福祉協議会に対しまして補助金といたしまして、6,712万7,000円を負担金及び交付金におきまして支出をしております。

委員長（徳並伍朗君） 岡村高齢障害課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 続きまして、障害福祉費ですが、1の介護訓練等給付費3億1,863万1,000円となっております。2の自立支援医療給付費、これは更生医療費扶助ですが、2,068万8,000円、福祉タクシー助成事業594万5,000円、4番目のさつき園コアラハウス運営委託料として、1,470万円、地域活動支援センター事業委託料として、1,200万円、次に特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当の支給状況でございますが、囲みの中で説明いたします。特別障害者手当、延べ人数にして176名、支給額465万3,000円、障害児福祉手当243名の349万4,000円、福祉手当、12名の17万3,000円となっております。次に老人福祉費ですが、1の敬老祝金支給状況でございます。対象者664名、支給額1,161万円、2番目の敬老

会開催委託料ですが、960万7,000円、生きがい活動支援通所事業委託料として、1,936回ですが、774万4,000円、緊急通報装置設置事業221台として、320万6,000円、老人保健医療事業特別会計操出金として、3,449万4,000円、介護保険事業特別会計操出金として、4億1,218万7,000円となっております。

委員長（徳並伍朗君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 続きまして、福祉医療助成事業費でございます。福祉医療費支給状況は次の枠書きで書いてございますけども、まず、重度障害者、対象者数が1,090件、支給額が1億7,175万4,000円でございます。続きまして、乳幼児985件、支給額が3,687万8,000円でございます。続きまして、母子家庭279件、支給額が900万4,000円でございます。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 岡村高齢障害課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 次に老人福祉施設費ですが、養護老人ホーム共楽荘の状況でございます。定員50名に対し、措置者数46名、前年度の対比1名減となっております。事業費でございますが、5,478万8,000円でございます。次に51ページの2の養護老人ホーム秋楽園組合分担金でございますが、1,862万2,000円、秋楽園の状況でございます。措置者数11名、委託料が1,862万2,000円、3番目の養護老人ホーム春光苑の状況ですが、措置者数3名の委託料607万9,000円となっております。

委員長（徳並伍朗君） 山田市民福祉部長

市民福祉部長（山田悦子君） 続きまして、国民年金費です。市町村では申請書の受付業務等行っておりますが、美祢市の被保険者数は平成21年3月末現在、4,945名、内訳は第1号被保険者2,966名、第3号被保険者1,933名、任意加入被保険者46名です。給付状況は福祉年金330名、拠出年金8,786名となっております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 続きまして、人権対策費であります。住宅資金貸付事業特別会計操出金としまして、127万9,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 岡村高齢障害課長。

市民福祉部高齢障害課長（岡村恵右君） 次に老人福祉センター費ですが、老人福祉センター指定管理料として、407万6,000円、これは美祢市社会福祉協議会へ指定管理しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 山田市民福祉部長

市民福祉部長（山田悦子君） 続きまして、国民健康保険費です。国民健康保険事業特別会計操出金として、1億7,382万5,000円を支出しております。続いて、後期高齢者医療費です。後期高齢者医療費操出金といたしまして、1億1,028万2,000円です。内訳といたしまして、事務費等操出金1,503万8,000円、保険基盤安定操出金9,524万4,000円となります。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 田代地域福祉課長。

市民福祉部地域福祉課長（田代裕司君） 次に、項児童福祉費、目児童福祉総務費であります。まず児童クラブ運営事業であります。市内で6箇所の児童クラブが運営しておりまして、その運営費を総額1,995万4,000円委託料において支出しております。次に、延長保育事業であります。市内私立保育園3園に対し交付しておりまして、総額1,537万円委託料において支出しております。

続きまして、52ページをお開き下さい。目児童措置費であります。各児童手当支給状況を説明いたします。被用者児童手当といたしまして、4,597万円、非被用者じどうてあてといたしまして、937万円、特例給付といたしまして、32万円、被用者小学校終了前特例給付といたしまして、1億75万円、非被用者小学校終了前特例給付といたしまして、2,022万円を扶助費において支出しております。引き続き、保育所運営委託であります。市内の私立4保育園及び感慨の7保育園への支出でありまして、総額2億2,207万4,000円を委託として支出いたしております。続きまして、母子福祉費であります。これは児童扶養手当でございます。245世帯、延1,793名で6,807万円扶助費において支出しております。続きまして、児童福祉施設費であります。市内の直営の公立保育園は9園ございますが、定員実入所人員はご覧の表のとおりで、入所待機児童はおりません。続きまして工事請負費といたしまして、真長田保育園軒下修繕工事費109万2,000円、赤郷保育園鉄棒取付工事費14万7,000円、総額123万9,000円を支出しております。続きまして、項生活保護費・目扶助費であります。20年度決算期における生活保護の状況は被保護世帯数104世帯、被保

護者数135名の方々に対し、生活扶助費他2億4,649万6,000円を扶助費として支出をしております。続きまして、お手元の各会計歳入歳出決算書をご覧ください。決算書一般会計の54ページ、55ページをお開き下さい。款民生費・項社会福祉費・目社会福祉総務費であります。この社会福祉総務費、節職員手当等において30万6,000円、続きまして62、63ページをお開き下さい。目の児童福祉総務費、節需用費において30万9,000円、同じく、節役務費おきまして、11万4,000円、続きまして、目の児童措置費、節扶助費において1,458万円、合計1,530万9,000円を繰越明許費として決算をしておりますが、これは平成20年度子育て応援特別手当分を21年度に繰り越したものでございます。以上で歳出の説明を終わります。

続きまして、歳入につきましてご説明をいたします。20年度美祢市各会計歳入歳出決算書中一般会計歳入歳出決算書の10ページ、11ページをご覧頂きたいと思っております。これからは収入未済額の大きいものをご説明を申し上げたいというふうに思います。款12分担金及び負担金・項2負担金・目民生費負担金、節児童福祉費負担金であります。これは保育料収入であります。調定額1億2,528万6,330円に対しまして、収入済額は1億2,036万7,710円でありまして、差し引き491万8,620円の収入未済額となっております。現在未納分の徴収につきましては、電話催告、特に月末に担当係はもちろんですけれども各両総合支所の市民福祉課職員の皆様にも同伴を願って臨戸訪問など実施いたしまして徴収に努めております。今後も徴収に努めて参ると努力するという事をいたしております。また同じく当決算書の30ページ、31ページをご覧ください。款20諸収入・項4貸付金元利収入・目2民生貸付金元利収入、節1同和福祉援護貸付金収入であります。今日では貸付実態はございませんけれども未償還の調定額259万8,299円に対しまして、償還額が52万9,530円あります。よって償還未済額が206万8,769円となっております。現在随時電話催告、臨戸訪問を行っており借入者の理解を得ながら徴収に努めております。今後も引き続き努力をして参るつもりであります。続きまして次のページ32、33ページをご覧ください項雑入・目雑入、節民生雑入であります。収入未済額が382万7,627円ございます。これは生活保護費返還の収入未済金であります。生活保護費返還金につきましてご説明をいたします。調定額513万2,510円に対しまして、収入済額が130万4,883円であり未済額は382万7,627円となっております。これは本

来保護費として支弁されるべきなかったことにより返還を求めるものでございまして適正に収入申告を行っている被保護者よりも不誠実な被保護者が有利とならないよう随時電話催告、臨戸訪問を行って徴収に努めております。以上で款民生費に係る20年度一般会計の決算予算の執行状況の説明を終わります。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に衛生費を議題いたします。執行部より説明を求めます。古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） それでは予算執行実績報告書53ページをお開き下さい。款衛生費の保健衛生費・保健衛生総務費のうち食生活推進活動事業ですが美祢市食生活推進協議会に事業を委託しておりまして、委託料として、250万円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 続きまして、2でございます。未給水地区飲料水水源確保事業16件、431万9,000円でございます。

委員長（徳並伍朗君） 古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 続きまして、予防費でございますが、1予防接種事業では予防接種法に基づきまして、急性灰白髄炎、高齢者のインフルエンザ等につきまして、定期の予防接種を実施いたしました。実施につきましては集団または普通接種によりまして、8,569名に実施いたしておりまして、4,604万2,000円を支出しております。2の健康増進事業でございますが、がん検診、健康教育、訪問指導等を実施しておりまして、4,423万9,000円を支出しております。検診等の詳細につきましては表のとおりとなっております。それから3結核対策事業でございますが、BCG接種及びX線間接撮影による健康診断を実施しておりまして、459万3,000円を支出しております。続きまして、母子衛生費ですが、1母子保健事業として、妊婦、乳幼児等保健相談事業や乳児1歳6か月児、3歳児健康診査事業等を実施しておりまして、990万5,000円を支出しております。なお歳入については収入未済額はございません。

委員長（徳並伍朗君） 佐々木生活環境課長。

市民福祉部生活環境課長（佐々木郁夫君） 続きまして、環境衛生費でございま

す。1犬、猫等収容状況は以下のとおりでございます。2狂犬病予防接種1,650頭、3中央墓園移転跡地整地工事45万2,000円でございます。次は54ページをお開き下さい。火葬場費、1船窪山斎場1号炉台車張替修理として、52万9,000円、2船窪山斎場2号炉台車張替修理52万9,000円、3番目ゆうすげ苑管理委託料1,491万6,000円、4番目船窪山斎場委託料543万6,000円でございます。続きまして、清掃費・清掃総務費でございます。1合併浄化槽設置整備事業でございますが、3,231万6,000円でございます。続きまして、塵芥処理費3億1,943万2,000円でございます。以上歳出でございます。歳入については、衛生費、保健衛生費については未済額はございません。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 中村上下水道課長。

上下水道課長（中村弥壽男君） 続きまして、項水道費・目水道施設費でございます。1の水道事業会計操出金として、1億2,440万5,000円、そして2の簡易水道事業特別会計操出金としまして、5,267万4,000円を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 古屋市民福祉部次長。

市民福祉部次長（古屋勝美君） 続きまして、病院費・病院事業費、1の病院事業会計操出金でございますが、美祢市立病院に3億881万7,000円、美祢市立美東病院に2億2,800万8,000円を支出しております。以上です。

委員長（徳並伍朗君） 内藤地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（内藤賢治君） 続きまして、目美祢社会復帰促進センター診療所費でございますが、美祢社会復帰促進センター診療所運営事業といたしまして病院事業会計へ8,710万円操出金を支出しております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に労働費を議題といたします。執行部より説明を求めます。藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 予算実績報告書の55ページをお開き頂きたいと思っております。款労働費・項労働諸費・目労働諸費でございます。就職祝金と

いたしまして、26万円を交付しております。人材育成調査・研究業務委託料といたしまして、46万6,000円、中小企業退職金共済制度補助金といたしまして、21万4,000円、美祢市勤労福祉共済会補助金といたしまして、10万2,000円、連合山口美祢地域協議会補助金といたしまして、39万1,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） 続きまして、目勤労青少年ホーム費でございます。この施設は勤労青少年の健全な育成と福祉の増進を図るためのものでございます。利用状況につきましてはご覧の表のとおりでございます。合計で1万2,888名の方にご利用頂いております。845万8,000円を支出しております。

委員長（徳並伍朗君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 続きまして、農村勤労福祉センター費でございます。農村勤労福祉センター管理委託料といたしまして、101万円を支出しております。利用件数につきましては176件のご利用を頂いております。続きまして、勤労者福祉施設費でございます。勤労福祉会館並びに勤労者総合福祉センター指定管理運営委託料としまして、1,659万円を支出しております。勤労福祉会館利用件数につきましては942件、勤労者総合福祉センター利用件数につきましては2,138件でございます。次に、シルバー人材センター運営事業費でございます。美祢市シルバー人材センター運営事業費補助金といたしまして、1,296万3,000円を支出しております。なおこのうち県からの補助金といたしまして、167万8,000円が美祢市のほうに入っております。以上でございます。

委員長（徳並伍朗君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 勤労青少年ホーム費なんですけど、この中に利用状況がありまして各教室がありますが、これは勤労青少年ホーム英会話とか美東でもありますが、中国語講座もありますが、これは美祢の勤労青少年ホームあそこだけの費用ですよね。美東の分を見ようと思ったけど間に合わなかったんですが、美東は美東で社会教育のほうで出てるのでしょうか。お尋ねいたします。

委員長（徳並伍朗君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） こちらの表に載っておりますのは美祢市の市役所の近くにあります勤労青少年ホームという施設の利用状況でございます。よろしいでしょうか。

委員長（徳並伍朗君） その他質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） 質疑なしと認め質疑を終わります。只今、一般会計の歳入歳出の説明を受け、質疑をいたしました。そのほか款1議会費から款5労働費まで、また関連する歳入につきまして、決算書等含め質疑を行います。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（徳並伍朗君） それでは質疑なしと認め質疑を終わります。この際1時まで休憩をいたします。

午前11時34分休憩

午後 1時00分再開

副委員長（山中佳子君） 休憩前に続き委員会を開きます。委員長が所用のため席を外しておりますので、これより副委員長の私が委員長の職務を努めさせていただきます。ご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

まず農林費を議題といたします。執行部より説明を求めます。川島農林課長。

建設経済部農林課長（川島 茂君） 款農林費・項農業費でございます。目につきましては農業振興費でございます。56ページをお開き願えたらというふうに思います。まず農業振興費でございますが、1番農業管理センター運営事業といたしまして、912万円頂いております。2番目に農産物安心・安全システム導入モデル事業でございますが、75万円、3番目需要に応える園芸産地構造改革推進事業でございますが661万6,000円を頂いております。4番目水田農業構造改革推進事業でございますが、1,897万円でございます。5番目の中山間地域等直接支払交付金でございますが、1億5,762万円でございます。6番目の農業資金利子補給事業でございますが、245万7,000円でございます。7番の農業経営基盤強化促進事業でございますが、50万円頂いております。8番目の鳥獣被害防止施設等整備事業でございますが、163万9,000円でございます。9番の担い手農地集積高度化促進事業でございますが、626万4,000円ございま

す。10番目の施設園芸省エネルギー化推進事業でございますが、6万円頂いております。11番目の厚保くり生産振興事業でございます34万3,000円、なお12番目の麦・大豆品質向上定着特別対策事業でございますが、62万円、13番目の野菜価格安定対策事業でございます27万3,000円でございます。引き続きまして、目農地費に入らせて頂きます。まず1番の土地改良事業償還助成金でございますが、1億8,035万7,000円でございます。2番目の農地・水・環境保全向上対策事業負担金でございますが、1,581万2,000円でございます。3番目の単独市費土地改良事業でございますが、443万4,000円でございます。4番目の単独市費土地改良事業補助金が、243万7,000円でございます。5番目の農業集落排水事業特別会計操出金でございますが、1億5,601万6,000円でございます。6番目の団体営農業用河川工作物応急対策事業でございますが、241万5,000円でございます。7番目でございますが、ため池等整備事業、梅ヶ坪と牛明奥のため池でございますが、3,636万円を頂いております。8番目でございますが、単県農山漁村整備事業でございます。中村地区・かんがい排水でございますが、121万2,000円でございます。9番目の農山漁村活性化・プロジェクト支援交付金事業でございますが、4地区でございますがそれぞれ祖母ヶ河内地区が6,585万円。祖母ヶ河内の棚田の保全事業でございますが、269万円と秋芳基盤整備事業、鍛冶屋地区でございますが、3,030万円でございます。秋芳里地棚田保全事業、門村地区でございますが、1,606万4,000円ということでございます。10番目の県営中山間地域総合整備事業負担金でございますが、5,823万円でございます。11番目でございますが、県営農業用河川工作物応急対策事業負担金といたしまして、425万5,000円ということでございます。続きまして、目の畜産費でございますが、1番目でございますが、優良子牛生産凍結精液代補助事業でございますが、59万8,000円でございます。続きまして、優良繁殖雌牛導入保留奨励事業でございますが、104万円とすることになっております。3番目の肥育用素牛導入利子補給事業でございますが、17万2,000円とすることでございます。4番目の畜産基盤再編総合整備事業でございますが、1,238万4,000円でございます。続きまして、款の林業費でございます。目の林業総務費に入らせて頂きます。1番最初に秋吉台山焼防火線設置報償金といたしまして、471万1,000円でございます。同じく秋吉台防火線でございますが、設置委託料といたしまして、73万

5,000円でございます。続きまして、57ページの目の林業振興費の説明をいたします。1番目の多目的作業道開設事業でございますが、3路線で341万9,000円でございます。2番目の有害鳥獣捕獲奨励事業でございますが、530万2,000円でございます。3番目のシカ被害防止対策事業でございますが、1,231万2,000円を頂いております。4番目の美しい山づくり事業でございますが、竹林改良の事業として、559万4,000円でございます。同じく美しい山づくり事業でございますが、作業路開設ですが、619万7,000円頂いております。6番目の森林整備地域活動支援交付金事業でございますが、1,134万4,000円でございます。なお続きまして、目の林業整備費でございますが、まず最初に1番目は地域公益保全林整備事業でございます2,418万5,000円でございます。2番目の森林総合研究所分収造林事業でございますが、2,051万4,000円でございます。続きまして、目の林道費でございますが、林道維持管理業務といたしまして、298万7,000円でございます。最後でございますが、目の治山事業費でございますが、小規模治山事業がございます。1地区ございまして、497万3,000円でございます。簡単ですが以上で説明とさせていただきます。

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。はい、田辺委員。

委員（田邊諄祐君） 補助金だけですか、それとも県の補助金がいっているんですか。それとも市だけの出費というか、費用なんですか。市が直接出した費用、全体の工事金額じゃなくて、そういう意味ですけど。

副委員長（山中佳子君） 川島農林課長。

建設経済部農林課長（川島 茂君） 林業振興費でよろしいですね。

委員（田邊諄祐君） この中に県とか国、国はないでしょうけど県の補助金はいっているのでしょうか。

建設経済部農林課長（川島 茂君） 予算の中は入っております。

委員（田邊諄祐君） 市の出費そのものはこれより少ないという解釈でいいんですか。

建設経済部農林課長（川島 茂君） はい、もちろん単独市費もございまして、県費補助もこの中に入っております。

委員（田邊諄祐君） はい、わかりました。

副委員長（山中佳子君） そのほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） それでは質疑なしと認め質疑を終わります。次に商工費を議題といたします。執行部より説明を求めます。藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） それでは58ページをお開き頂きたいと思えます。款商工費・項商工費・目商工総務費からご説明を申し上げます。始めに矯正施設活性化推進室相談員報酬といたしまして、108万円、2番目の竹材資源活用事業建設工事費として、これは繰越明許費でございますけれども8,263万5,000円でございます。農産物水煮施設機械設備購入費でございますが、こちらのほうも繰越明許費でございますけれども3,032万4,000円でございます。竹箒オゾン式殺菌庫購入費でございます。こちらのほうも繰越明許費でございますが、116万6,000円でございます。農林資源活用施設給水負担金といたしまして、こちらのほうも繰越明許費でございますけれども42万円でございます。続きまして商工振興費でございます。まず最初にアンモナイトフェスティバル事業委託料といたしまして、240万円、みね桜まつり事業委託料といたしまして、57万6,000円、みねマップ政策事業委託料といたしまして、210万円、商工会運営事業補助金問いたしまして、1,100万円、商工貯蓄共済融資保証料補助金といたしまして、426万8,000円、市制度融資保証料補給補助金としまして、23万4,000円、市制度融資利子補給補助金といたしまして、80万円、市制度融資預託金といたしまして、992万8,000円、それぞれ支出しております。次に流通対策費でございますが、消費者問題広報啓発活動等委託料といたしまして、20万円ほど支出しております。観光費でございますけれども一番初めの道の駅「おふく」指定管理者委託料といたしまして、1,255万4,000円、同じく道の駅「おふく」温泉熱源効率化改修工事費といたしまして、1,029万円をそれぞれ支出しております。

副委員長（山中佳子君） 阿武観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（阿武 知君） 3番以降につきましては総合観光部のほうで説明をさせていただきます。3水神公園浄化槽維持管理業務委託料10万1,000円でございます。4豊田前桜公園浄化槽維持管理業務委託料5万5,000円でございます。5吉則公園美化維持管理業務委託料8万4,000円でございます。6番石屋形羅漢山磨崖仏美化維持管理業務委託料10万円でございます。7水神公

園美化維持管理業務委託料26万2,000円でございます。8大岩郷周辺維持管理業務委託料12万円でございます。9大岩郷周辺草刈業務委託料17万3,000円でございます。10中国自然歩道草刈業務委託料59万8,000円でございます。11妙見原園地・自然観察道管理業務委託料22万4,000円でございます。12秋吉台人工の森公衆便所及び駐車場管理業務委託料28万7,000円でございます。13エコ・ミュージアムエレベーター管理業務委託料37万8,000円でございます。14エコ・ミュージアムインフォメーショントイレ清掃委託料211万9,000円でございます。15エコ・ミュージアム浄化槽維持管理業務委託料22万円でございます。16エコ・ミュージアム電気工作物保安管理業務委託料19万1,000円でございます。17エコ・ミュージアム夜間警備業務委託料18万9,000円でございます。18秋芳洞水質調査業務委託料29万4,000円でございます。

副委員長（山中佳子君） 西田観光振興課長。

総合観光部観光振興課長（西田良平君） 続きまして19番以降の説明のほうさせていただきます。19番県観光連盟負担金142万300円でございます。20番県観光連盟会費21万6,000円でございます。21番市観光協会補助金336万円でございます。22番秋吉台エコツーリズム推進協議会負担金20万円でございます。23番産業観光推進協議会負担金40万円でございます。24番日本観光協会負担金12万円でございます。25番秋吉台観光まつり助成金907万6,000円でございます。26番観光ボランティアの会活動助成金17万円でございます。27番県研修旅行誘致促進協議会負担金20万円でございます。28番秋芳梨組合宣伝補助金15万円でございます。29番秋吉台エコツーリズム協会負担金60万円でございます。30番ながと路観光連絡協議会負担金48万円でございます。31番長州路観光連絡協議会負担金17万円でございます。32番美祢さくら公園記念樹・句碑設置工事63万5,000円でございます。33番観光事業特別会計操出金5,444万7,000円でございます。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 続きまして、道の駅みとう管理経費でございます。浄化槽管理等委託料でございますが、29万7,000円、清掃委託料といたしまして、175万円、浄化槽原水ポンプ槽パイプ詰まり改修費といたしまして、47万5,000円を支出しております。続きまして、産業技術センター費

でございますが、産業技術センター管理委託料といたしまして、101万円を支出しております。利用件数につきましては126件の利用を頂いております。続きまして、企業誘致対策費でございますが、山口県企業誘致推進連絡協議会負担金といたしまして、73万円を支出しております。最後でございますが、十文字工業団地給水施設費でございます。水質検査業務委託料といたしまして、60万6,000円、配水管布設工事費といたしまして、330万8,000円を支出したところでございます。以上でございます

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

委員（三好睦子君） 決算書のページ92ページですが、十文字原工業団地給水施設費で625万7,000円で支出が600万円とあるのは、19年度では役務費だけで約1万5,000円の支出でしたが、何故こんなに金額が上がっているのか不思議に思いました。それで21年度の予算を見ますと500万円予算が組んであります。ほぼ300万円ではないのかと思うんですが、美東時代に美東町の18年の旧美東の見れば300万円の支出になっています。そして21年度では500万円になっていますが、大体これは給水施設費は300万円ぐらいで済むのではないのでしょうか。そして思ったのですが、これは会社のために水をあげてるのですよね。水道代でもらうべきではないのかなとかと思いますが、そのてんどうなのでしょうかお尋ねします。金額が違うのでちょっと不思議に思いました。

副委員長（山中佳子君） はい、藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 20年度の美祿市各会計決算書の93ページのほうに役務費が18万1,000円の決算額が上がっております。これが高いのではないかということのご質問だったかと思えます。こちらのほうにつきましては（発言する者あり）

委員（三好睦子君） 役務費が高いとは言っておりません。流れとして、流れというのですかね、この度の予算では約600万あると支出が約600万ですよね。去年は600万円上がってないと去年というか19年度はそして金額がおかしいと思って18年をくってみたんですよ、そしたら美東の時には300万程出ると、だから十文字原工業団地給水施設の費用というのは300万がちょうどいるぐらいの金額ではないかと金額が違うのでそれをお尋ねしています。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 申し訳ございません。今年度は596万9,000円ということで支出したわけですが、今年度は見て頂ければわかりますように工事請負費というので先程決算書の実績報告書でもご報告したかと思えますけれども今年度に限って配水管布設工事費というのが330万入っております。これは企業誘致が行われた場合に本管の増設工事がやって参りますので誘致企業があった場合については工事費が増えるという形になりますので今年度に限って事業費が増えてるという状況でございます。

副委員長（山中佳子君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） そしたら19年度は全然なかったということですか。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 19年度は誘致についてはございません。

委員（三好睦子君） わかりました。

副委員長（山中佳子君） はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 排水はどうなってるのでしょうか。側溝の蓋がバーンと開けてザーと開けてあったんですけど、あれから流れて県道のところの施設に行くのかなと思ったんですけどやはり工業団地では地下水を汚水してもいけませんし、小野湖もありますし、そこの排水の処理はどうなってるのかちょっと心配になりましたが大丈夫なののでしょうか。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 工業団地の排水につきましては三好委員ご承知と思いますが、下に弁財天池というのがございます。その上流といいますが敷地内に工業団地専用の浄化槽を持っております。そちらのほうで処理したものをその弁財天池に流すような仕組みになっております。また雨水等につきましては別にそのまま入ると弁財天池のほうに入るということになっております。更に企業によってはどうしても場内処理を必要とするものがございます。それにつきましてはその工場につきまして単独で浄化槽を持って処理をして排水路に放流をしてるという状況でございます。

副委員長（山中佳子君） そのほかに質疑はありませんか。田辺委員。

委員（田邊諄祐君） 齊藤次長にお伺いしますけど、道の駅「おふく」の温泉熱源効率化改修工事されましたけど、当時は石油が非常に高かったので軽油が重油に

変えられたと思います。灯油に変えられたんだったですかね、それで結果メリットがあるのかなのか効果が出てきたのかなのかその辺を具体的にお伺いしたいんですが。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 道の駅「おふく」の款につきましては私のほうでやっておりますので私のほうから回答させて頂きたいと思いますがけれども昨年度1,029万円の費用出して頂きまして熱源効率化の工事をさせて頂きました。この効果につきましては非常に大きいものがございます。温度が通常の温度より6度程度上がって参りますので去年は灯油の原油高ということでコストも高かったんですけれどもその毎月の状況を見ますと3分の1程度に下がっております。そういった状況で効果が非常に出てるんじゃないかというふうに考えております。以上です。

副委員長（山中佳子君） 田邊委員。

委員（田邊諄祐君） いやあれはね、燃費を節約できるということで始まった工事だと思うんですよ、いろいろ理由はありましたけどね、その辺の効果が具体的にどのくらいになったのかそれをお聞きしたいんですけど。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 今申し上げましたように単価のほうも以前と比べて下がったという面もございますけれども全体的に一月に使用するかかる経費といいますか、そちらのほうは3分の1程度に落ちております。

委員（田邊諄祐君） 担当者ですからね具体的にちゃんとかこういう結果で灯油が下がったんで当初計画はこうだったけどこういうあれでどれだけのメリットがあるかということを知りたいんです。具体的には。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） それでは直近のもので申し上げたいと思いますが、8月の例をとらせて頂きたいと思っております。去年の8月の状況が灯油の使用料が2万1,360リッターでございました。その時の灯油の単価が115円55銭でございます。灯油の金額といたしましては248万9,508円、この額を灯油代としてお支払いをしたわけでございます。今年度の8月によりますと使用料につきましては1万6,000リッターに落ちております。2万1,000が1万6,000、5,000リッター落ちたということになります。単価につきまし

ては116円であったのが現在は48円から52円という単価になっております。それによりまして8月一月で80万6,500円という灯油代がかかっております。それにつきましては昨年度が248万9,000円に対して今年が80万6,000円ということで約3分の1以下になってるという状況でございます。

副委員長（山中佳子君） 田邊委員よろしいでしょうか。

委員（田邊諄祐君） 結構です。もう一つあります。例の矯正施設の活性化推進対策として竹資源の活用事業費これは8,263万5,000円と農産物水煮機械設備購入費3,032万4,000円、竹のオゾン殺菌購入費116万で約1億5,000万近く使ってるわけですね、更に道路造ったり竹林の整備をやられたと思うんですけど、それから資本金1,950万円投資されて今2億近く投資されてると思うんですけど、そういう解釈でいいんですか。

副委員長（山中佳子君） 藤井商工労働課長。

建設経済部商工労働課長（藤井勝巳君） 資本金につきましては市のほうから1,950万円確かに頂いております。またこれ以外に社会促進センターのほうで機械整備をしているのは19年度で整備をしております。そして20年度事業として桃の木に作りました竹材資源活用施設8,200万、そしてその中にある備品が3,032万、そして復帰センターの竹箬を作る設備の中でオゾン殺菌庫これが116万ということで桃の木の施設のほうでは水道分担金ということになりますので田邊委員さんが言われるようにその程度のお金がついやされております。以上です。

委員（田邊諄祐君） わかりました。

副委員長（山中佳子君） そのほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に土木費を議題といたします。執行部より説明を求めます。矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） それでは60ページをお開き下さい。款土木費・土木管理費・土木総務費の中で、一旦住宅団地有形固定資産購入費、これは住宅内の道路用地でございますけど5,603万5,000円、その下の地積調査費としまして、9,990万円、調査対象の箇所といたしまして美祢地区が2.56、美東地区が4.24キロ平米となっております。下に実施状況等、進捗率等示しております。その下に道路橋梁費・道路維持費ですけど、1といたしまして、市道及び生活道路補修等業務委託費が63件で2,513万7,000円、2といた

しまして、正法寺線側溝整備工事外 5 1 件、4,248 万円、その下の道路新設改良費、地方道路整備臨時交付金事業、これは沖田 1 号線といたしまして、美祢市大嶺町吉則の県の合同庁舎から今整備進めております渋倉伊佐線までの市道でございますけど測量設計業務委託、道路改良工事、舗装工事、道路改良にかかる用地購入費、物件移転等で 1,741 万 5,000 円を執行させて頂きました。2 といまして、道路新設改良事業費、佐山本線道路改良工事に伴う測量設計委託外 8 件、2,084 万 1,000 円、荒川線道路改良工事外 33 件、8,720 万 6,000 円、四郎ヶ原杉原線外道路改良にかかる用地購入費 164 万 6,000 円、県事業負担金 2,219 万円となっております。以下、下に美祢市の市道整備状況を載せております。続きまして、61 ページをお開き下さい。橋梁維持費でございますけど橋梁通常点検業務委託 189 万円、辰石橋橋梁補修工事が 168 万円、熊野倉橋安全施設整備工事が 27 万 3,000 円、続きまして、都市計画費・都市計画総務費といたしまして、美祢市管内図印刷として 32 万 7,000 円、街路事業費といあすまして、まちづくり交付金事業、補助対象分でございますけど、渋倉伊佐線広幅歩道の埋設物これは主に山水場の水道工事でございますけど、それと同じく渋倉伊佐線照明工事、同じく広幅歩道の舗装工事であります。それに事務費を加えまして、5,564 万円、2 といまして、街路事業経費、駅前広場清掃業務が 12 万 6,000 円、市道国行下村線外 2 路線の街路樹の剪定でございます。これが 81 万 9,000 円を執行させて頂きました。続きまして、都市公園管理費でございますけど、管理費といたしまして、桜山総合公園の枯木対策事業外都市公園の遊具、ポケットパークの管理業務、美祢中央公園の管理業務、竹林公園の管理業務、美祢桜公園ほか公園管理業務といたしまして、1,858 万 5,000 円、つづきまして、都市公園事業費、公園遊具補修費でございます 105 万円、内川地区広場整備工事といたしまして、99 万 8,000 円、続きまして、都市排水路整備費、これは美祢市大嶺町吉則下の雨水対策で洪水防止の工事をやるために整備したものでございますけど、排水路工事として 900 万円、その機械設備といたしまして、1,030 万円、その電気工事で 380 万円、その工事に伴う配電設備と電柱の移転補償費とで 191 万 4,000 円、金山地区都市排水路整備工事 156 万 1,000 円、中浅地川河川整備に伴う用水路整備工事で 28 万 9,000 円、美祢ハビテーション調整池浚渫工事で 84 万円、その下に行きまして、公共下水道事業費の他会計操出ますお金といたしまして、5 億 8,740 万 9,000 円を上げており

ます。続きまして、1枚めくられまして、62ページをお開き下さい。款といたしまして、河川費・河川総務費、主な事業といたしまして、7番洪水ハザードマップ整備事業で528万4,000円、これは厚狭川水系ハザードマップを作成いたしました、印刷代として100万円、そのハザードマップ作成委託といたしまして、428万4,000円と計上させていただいております。その下の住宅費でございます。住宅管理費、住宅管理経費で3,812万9,000円を計上させて頂いております。主なものといたしまして、高層住宅のエレベーターの保全点検業務に417万6,000円、外桜ヶ丘住宅の外団地除草処理業務で178万5,000円、住宅修繕料、既存の住宅の修繕のお金ですけど1,044万3,000円、外挙げております。その下の山口県住宅供給公社賃貸住宅負担金と言うのがありますがこれが629万1,000円、これは美東町にあります温湯団地の県に払う住宅負担金であります。その下に美祢市の市営住宅の状況、公営住宅、特定住宅等をお示ししております。その下に住宅建設費でございます。1といたしまして、高齢者向け優良賃貸住宅事業といたしまして、高齢者向け賃貸住宅の住宅利子補給をするものが102万6,000円、地域住宅交付金事業によるものが、高齢者向け優良賃貸住宅家賃低廉化事業、公営住宅事業とかいろいろありまして、合計いたしまして、9,951万8,000円でございます。支出は終わりました、歳入のほうに参りたいと思います。美祢市各会計の歳入歳出決算書お出してください。一般会計の11ページをお開き下さい。使用料及び手数料でございます。11ページの一番下、市営住宅の使用料を載せております。調定額が20年度1億8,565万8,792円、収入済額が1億6,087万2,570円で収入未済額が2,463万3,277円となっております。前年度より218万1,855円ほど増加したわけでございます。現在市営住宅戸数が870戸ありまして、入居者の世帯数が767ありまして、今、収入未済でなっております滞納しております世帯が、滞納金額が合計が10万以上のものが59世帯、この収入未済額に占める金額といたしまして、2,207万5,437円それを含まず次は30万以上滞納しております世帯が26世帯1,659万9,091円となっております。昨年より218万程度上がったわけですけど、今年度の対策といたしまして、督促状・催告状及びその誓約書等を出して頂き支払いの計画書等を出して頂きやっというと考えておりますけど昨年度この委員会で建設課全体で対応するということを申しました。結果このようなことになり誠に遺憾に思っております。今後の対応といたしまして、建設課内全員で

2名を班といたしまして戸別訪問や夕刻時の電話による督促等により収納率を上げて参りたいと思いますし、またその滞納世帯が他の使用料、税等の重複しておられる方も多くおられます。他の部署ともに連携をとって収納していきたいと考えております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。岩本委員。

委員（岩本明央君） お尋ねいたします。決算書の93ページ土木費から始まりましていろいろありますがこの中で一番気にかかるのは繰越明許費なり継続費の額が大変額が大きいですよね、20年度の決算ですから21年度なり継続費は22年度に回るかもしれんけど、この辺実際に事業できるんですか。これ相当な金になりますよね。金額がこの辺はどのように見込んでおられるかお尋ねいたします。

副委員長（山中佳子君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 岩本委員のご質問にお答えいたします。この繰越明許費は景気対策で昨年予算を頂いたもので今年は災害もあったということですからこれはあれなんですけど災害のあれが終わりましたらすぐ事業の発注等をやります今年度中に完成をしたいと思っております。以上です。

副委員長（山中佳子君） 岩本委員。

委員（岩本明央君） 今答弁がありましたけど、激震災害の関係で先般補正が出ましたこれもたしたら相当な額になるんですが、本当に大丈夫ですか。

副委員長（山中佳子君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 今の現状の人員でやっていくことを考えております。以上です。

副委員長（山中佳子君） そのほかございませんか。田辺委員。

委員（田邊諄祐君） 急傾斜地の件なんですけど、伊藤部長さんにお伺いします。美祢市のほうで急傾斜地については10%ほど計上してるんだと前に言われたんですけどそれはどこに計上してあるんでしょうか。

副委員長（山中佳子君） 伊藤建設経済部長。

建設経済部長（伊藤康文君） 県事業負担金のほうで歳出しております。

委員（田邊諄祐君） わかりました。どうもすみません。

副委員長（山中佳子君） そのほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に消防費を議題といたします。執行部より説明をお願いします。西岡総務課長

消防本部総務課長（西岡博和君） 消防本部から主要事業につきまして、ご説明申し上げます。款消防費・項消防費・目常備消防費についてご説明申し上げます。1 消防隊員用防火服整備事業、20年度は6着を整備いたしまして、110万5,000円、2女子仮眠室整備事業325万5,000円、3消防庁舎廊下改修工事で130万2,000円、4地図表示検索システム56万8,000円、5救急救命士気管挿管症例実習に21万円、6救急救命士薬剤投与追加講習に23万円、7救急救命士再教育に9万円、8緊急自動車安全運転研修に8万2,000円、次に、非常備消防費、こちらは消防団経費になります。1備品購入費、消防用ホース、これは50mmホースになります。11本分で30万6,000円、防火衣及びヘルメット、こちらに70万6,000円、発電機付投光器56万4,000円、次に資機材一式になりますが、枠で囲まさせて頂いております。背負い式消火水のう・消防用ホース65mmホース32本分・ノズル・管鎗・双口接手、これら資機材一式で220万3,000円、2番目に消防団員の出勤状況について、ここに表させて頂いております。災害、訓練、大会等の区分に従いまして、件数、以上で総延べ出勤人員が3,102名となっております。次に目の消防施設費、1既設防火水槽蓋設置工事2工区・4区を行いまして、286万7,000円、目の水防費、1アルミ缶組立リアカー購入に8万4,000円となっております。以上です。

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に教育費を議題といたします。執行部より説明をお願いします。国舛教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） それでは64ページをお開き頂きたいと思っております。款が教育費・項が教育総務費・目高等学校費からご説明をさせていただきます。1私学振興に伴う運営費補助でございますが、私立成進高等学校へ1,470万円の支出でございます。次に小学校費・学校施設整備費でございます。1豊田前小学校集落排水接続工事346万5,000円の支出でございます。2大田小学校天窓転落防止設置工事ほか9件、727万3,000円の支出でございます。工事内容は大田小学校の天窓、防護策の設置工事費が27万3,000円、そしてその

他麦川小学校の玄関スロープの設置が108万2,000円、そして城原小学校の防球ネットの設置99万8,000円、大田小学校のトイレの改修工事121万8,000円、於福小学校のトイレの改修工事82万3,000円、秋吉小学校の防災設備補修工事の88万2,000円などを行っております。次に中学校費の学校施設整備費でございます。1美東中学校A棟・B棟耐震診断業務委託、前払金といたしまして、100万円の支出でございます。2美東中学校特別室棟雨漏り補修他工事ほか2件、574万2,000円の支出でございます。工事内容は美東中学校の特別教室棟の雨漏り補修工事が250万9,000円、伊佐中学校のグラウンド防球ネット設置工事が281万4,000円、豊田前中学校の屋内運動場の控室の床の張替工事が41万9,000円でございます。次に幼稚園費・同じく目も幼稚園費でございますが、幼稚園就園奨励費補助でございます。対象幼稚園が五つの幼稚園でございます、対象園児は202人でございます。1,573万1,000円の支出でございます。2といたしまして、幼児教育振興事業費補助でございます。244万8,000円の支出でございます。

副委員長（山中佳子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） それでは項といたしまして、社会教育費に移ります。目社会教育総務費でございます。1社会教育団体育成補助金、該当は8団体でございます。253万2,000円の支出でございます。2美祢・山梨子ども交流事業補助金、美祢市と山梨市の子どもによる交流事業の補助でございます。57万9,000円。3放課後子ども教室運営事業、子どもたちの安全・安心な拠点づくりを進める事業でございます。543万5,000円でございます。4秋吉台国際芸術村運営委託料、これは財団法人山口県文化振興財団に支払う指定管理料で2,920万8,000円の支出でございます。

副委員長（山中佳子君） 田辺総務部次長。

総務部次長（田辺 剛君） 5番目山口国体美祢市実行委員会に対して、運営費補助金を90万円を支出しております。以上です。

副委員長（山中佳子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） 続きまして、目といたしまして、公民館費でございます。1生涯学習推進等講師謝礼、補償金としまして138万3,000円、2綾木農村公園陥没補修工事といたしまして11万8,000円、3綾木公民館自動ドア修理に33万7,000円、4岩永公民館フロア取替、これは合併浄

化槽の修理でございまして、29万4,000円、5申し訳ございません。一番後ろの入替の替えの字が変な字になっておりまして申し訳ございません。これにつきましては、上の取替と同じ字でございます。秋吉公民館ガラス入替でございます。21万5,000円、6真長田公民館水銀灯ランプ取替修理といたしまして、10万5,000円を支出しております。続きまして、目図書館費でございます。各図書館利用状況につきまして以下の表になっております。美祢・美東・秋芳の3館の利用状況でございます。2,645万7,000円の支出でございます。目市民会館費に移ります。市民会館食堂厨房改修工事でございます。これにつきましては、食堂の壁等補修工事でございます。102万9,000円の支出でございます。

副委員長（山中佳子君） 高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） 続きまして、65ページの目文化財保護費でございます。長登銅山文化交流款事業費で1億110万8,000円を支出しております。続きまして、文化施設費ですが、施設利用状況といたしまして、歴史民俗資料館、化石採集場、化石館、長登銅山跡資料館の利用人数を表にまとめてございます。続きまして、秋吉台科学博物館費でございますけども館外部階段改修工事に81万4,000円を支出しております。館利用状況といたしましては年間4万1,909名の利用がありました。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） 続きまして、目生涯学習まちづくり推進事業費でございます。生涯学習推進事業といたしまして、165万7,000円を支出しております。2市民大学講座運営事業でございます。323万1,000円の支出でございます。続きまして、目花づくり推進事業費でございます。1花づくり推進事業といたしまして、882万1,000円を支出しております。続きまして、目美東センター費でございます。美東センター利用状況等はご覧の表のとおりでございます。事業費といたしまして、651万7,000円でございます。目来福センター費でございます。来福センター利用状況につきましてもご覧のような表になっております。事業費といたしまして、822万3,000円の支出でございます。

副委員長（山中佳子君） 福田体育振興課長。

教育委員会体育振興課長（福田雄一君） 65ページ、一番下でございます。保健体育費・保健体育総務費、1体育指導員報酬、大変申し訳ございません。220万

円とありますが、決算額は189万円でございます。お詫びして訂正をお願いしたらと思います。申し訳ございません。次にページをめくって頂きまして、体育施設費でございます。美祢市秋芳北部総合運動公園給水管布設工事30万1,000円、2番目といたしまして、体育施設の利用状況を一覧表にしております。今後とも市民の皆様方に気軽に利用して頂きますよう努力して参りたいと思っております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 国舛教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） 目が給食施設費でございます。1大嶺共同調理場床塗装工事ほか2件、90万2,000円の支出でございます。工事の内訳でございますが、大嶺共同調理場の床の塗装工事費が35万7,000円、於福共同調理場の庇の設置工事費が1万4,000円、嘉万調理場の食器消毒液の布設工事費が23万1,000円となっております。

副委員長（山中佳子君） 松本学校教育課長。

教育委員会学校教育課長（松本孝志君） ここには載せておりませんが若干付け加えさせていただければというふうに思います。大変申し訳ありませんが、歳入歳出決算書のほうでご説明をしたいと思いますので見て頂ければと思います。108ページでございます。教育総務費・一番下にありますが、目の外国青年英語指導事業費でございます。これはALTを活用して、主に中学校で英語指導を行っている事業でございます。109ページにあります支出済額が1,037万2,000円でございます。それから113ページでございます。小学校費の教育振興費、扶助費でございますが、1,032万8,462円でございますけれども、この内訳は修学援助費、それから修学奨励費の支出済額でございます。その中の修学援助費については958万2,000円でございます。同じく中学校のほうでございますが、115ページでございます。中学校費・教育振興費、扶助額でございますが、これは767万4,623円になっておりますが、このうちの修学援助費が709万1,000円でございます。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。高木委員。

委員（高木法生君） 先程ご説明がありました主な事業ではございませんけれども2点程お伺いをしたいと思います。歳入歳出決算書の116ページでございますが、社会教育総務費の中で20年度当初予算では成人式の運営経費として74万

7,000円計上されているところでございます。ここでは計数的なことにつきましては申し上げませんが、社会教育の推進あるいは充実関わるということでお伺いしたいと思いますが、本年1月11日に成人式が実施されまして新成人の該当者が297名、そのうち参加者が224名ということでございます。参加率で申しますと75.4%になるかと思いますが、人生におきまして節目の事業ということでもう少し80%を超える参加率というものはどうにかならないものかという気がいたしておりますけれどもこのことにつきましてどういうご認識を持っておりますかちょっとお伺いをしたいと思います。それからもう1点は119ページでございます。図書館費の13といたしまして委託料でございます。予算額が168万6,000円ということで不用額が84万8,303円と半額の不用額が生じております。これを見ますと当初予算におきまして清掃委託料が79万、電算システム保守委託料が89万6,000円で、併せて168万6,000円になるわけでございますけれどもこれはどちらか未執行ということになったのか、その理由があればお聞かせ願いたいと思います。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） 只今の委員さんのご質問にお答えいたします。まず1点目でございますが、成人式の参加者の率ということで75.4%ということで高い数字ではないということは認識しております。これにつきましては市報または回覧等通じましてその地区の該当者の方を調べさせて頂いております。例えば住民票に載っておる方はよろしいんですが、住民票がなくて親元から出ていらっしゃる方も成人式に参加して頂こうと思っておりますのでこういう形で回覧等通じまして該当者を調べさせて頂いております。そのほかに住民票を美祿市におかれています、ひょっとして大学等で違う地区に住んでいらっしゃる方もいらっしゃいますと思いますので、その方達の参加を出来るだけ延ばすようにしていかなければいけないと思っておりますので先程申し上げました回覧等でまた周知を図りながら参加者を増やしていきたいと考えております。

それでは2番目のほうに移りたいと思います。2番目のご質問ですが、電算システムの保守委託料ということで組んでおりましてこちらのほうが毎月の支払いで委託契約を結びまして委託を続けていこうと考えておりましたが、機械等システムを考えましたところ単発で故障したときに修理するほうに回してはどうかという意見も出まして、そちらのほうが少なくすむのではないかとということでやりました結果

お金のほうがだいぶ少なくすみましたものですのでその分が不用となっております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） よろしいでしょうか。河本委員。

委員（河本芳久君） （ ）ついていきますと予算がなかなか付きにくいとしっかり教育に予算を付けるべきですが、なかなか予算が付きにくいとしかし20年度の決算を見ますと教育費だけでも5,100万円ですか、決算書では107ページ決算書では5,100万円余りの教育費だけでもこの不用額、いわゆる予算は付いているけれども執行していないというまはては公民館は予算がないからもう事業を縮小せんにゃならん、実質的に皆さん方一つ学生の、まあ運営してくださいこういう話がよく返ってくるんです。公民館費でも800万円の不用額として残されている教育費が非常に足りないといいながらこれは市として財源確保のために節約節制して徹底して経費の節減の一つ求められてそういう結果になったのかどうかこのあたりをまず確認したいんです。いわゆる不用額が非常に多いということ、その中にはとりわけ社会教育費これについて見解をお願いします。

副委員長（山中佳子君） 杉原社会教育課長。

教育委員会社会教育課長（杉原功一君） 只今の質問にお答えいたします。公民館費の中で今しないに公民館が13館ございましてその中で特に需用費等も今回117ページのほうで多く残っておりますが光熱費等いろんな面で十分足りるように組んでおりましたところが一部のところで残ったりしてそれが13館ありますとどうしても金額等が多くなってしましましてその中でいろいろやりくりしながらやっているとございまして、うまく利用できなかったということになっております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 河本委員。

委員（河本芳久君） 執行については非常に財政状況考えられてそして節減し効率的な予算執行してこういう結果になりましたと大変いいように受け止められますけれども実はだんだんこういうふうはこの不用額を多く残すということは当初計画になんか問題があったんじゃないかとか疑われる面も出てくるわけです。必要な経費はしっかり使ってそして地域振興なり教育振興にしっかり当てて行くべきではなからうかとそういう面からただ収支の4億1,000万円ぐらい今年は黒字になったというけど黒字になった原因がやはり次の年度の予算を移行してしっかり財源を確保しておきたいとこういう執行部の意図の中でやられたのかどうかその辺もよく

わかりませんが私としては予算を計上した以上はその根拠に基づいて予算執行し不用額は少なくなるのではなかろうかと不用額を多く残すことは悪いとは言いませんけれども、しかし必要でなかったということはたくさん出てればなんか意図的に執行控えたような印象受けるわけです。そういうことは逆にしたら住民にとっては予算がないからと言いながらだんだん不便は方向に持って行かれるのではなかろうかとこんな気がするわけです。この点については教育全般についても不用額が5,100万というかなりの額の予算が不用額となっている。この点については今後どういふふうな来年度予算もございましてので考えを持っておられるか一応確認しておきたいと思います。これは教育委員会全般についてお願いいたします。

副委員長（山中佳子君） 国舛教育委員会事務局長。

教育委員会事務局長（国舛八千雄君） それでは河本委員さんのご質問にお答えしたいと思います。確かに5千なにがしの不用額を出しておるわけですが、これにつきましても各課それぞれ最大限有効に使用させて頂くということできると事業を取り組んでおります。その結果こういう5千なにがしの不用額が生じたわけですが、今後も十分この事業につきましても精査しながら今後の取り組みを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） よろしいでしょうか。岩本委員。

委員（岩本明央君） 報告書の65ページと決算書の120、121ページの中から質問いたします。私は長登の文化交流館は大変すばらしい会館と思っております。また観光資源として大変活用が出来るのではないかと考えておりますし、また京都のほうからもちょっと話がありまして、いいことじゃなと思っております。今後の期待をしてるわけですが、65ページの一番上のほうに事業として長登銅山文化交流館の事業として1億110万8,000円、決算書の中で121ページの真ん中辺工事請負費等が8,500万ぐらいありますがこれはどれをたしたものが1億になるんでしょうか具体的にご説明をお願いいたします。

副委員長（山中佳子君） 高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） 只今の議員さんのご質問にお答えいたします。まずこの1億110万8,000円の金額でございますけれどもこれはまずは委託料でございます。これ全てではないんですけれどもこの中のうちの1,340万6,000円ぐらいが長登銅山の関係で使われております。それから続きま

して工事請負費これは全額長登銅山で使われております。そして18番目の備品購入費でございます。この全額も長登銅山で使われております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） そのほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。次に災害復旧費を議題といたします。執行部より説明を求めます。川島農林課長。

建設経済部農林課長（川島 茂君） 最後のページ67ページをお開き願いたいと思います。款の災害復旧費でございます。項の農林施設災害復旧費でございます。目の単独災害復旧費ですが、単独災害復旧費といたしまして、長尾地区農道災害復旧工事ほか16件ということで、合計の425万7,000円を今回使わせて頂いております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 同じく土木施設災害復旧費でございますが、単独災害復旧費、現年発生災害復旧費、道路4件、河川4件で434万9,000円を支出しております。以上でございます。

副委員長（山中佳子君） 説明が終わりました。それでは質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。それではそのほか、款6農林費から款12交際費まで、また関連する歳入につきまして、決算書等を含めまして質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） 質疑なしと認め質疑を終わります。

以上で議案第16号平成20年度美祢市一般会計決算の認定についての説明・質疑までを終了いたしました。なお、討論採決につきましては、明日の総括審議終了後に行いますのでよろしくお願いいたします。

それではその他委員の皆さまから何かございましたらご発言お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

副委員長（山中佳子君） ないようでしたら、これにて本日の審査を終了いたします。なお、明日は全特別会計決算につきまして審査いたします。それでは、明日9月30日、午前9時30分より当委員会を開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

します。本日はこれにて散会いたします。

ご審査・ご協力誠にありがとうございました。お疲れでございました。

午後2時52分散会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成21年9月29日

決算審査特別委員会

委員長

逆巻任嗣

副委員長

山中炭子